

# 佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会  
編集発行人 小川 洋起

## 会員各位

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この49号が皆様のお手元に届く頃には卒業式や卒業式準備等の真っ最中ではないでしょうか。本年度の佐事研だよりも、この49号をもって最後となります。1年間のご愛読ありがとうございました。

### 平成18年度 第3回理事研修会について（要約）

平成19年1月26日佐賀市のアバンセで第3回理事研修会が開催されました。

#### 1) 会長挨拶&事務局員の追加委嘱について

小川会長より挨拶の中で、秋の佐事研大会が成功裡に終わったこと、佐事研と県教委の間で共同実施を含め事務改善についての話し合いが行われていることが報告されました。また、生方美代さん（東与賀中）が新しく事務局員として委嘱されました。

#### 2) 第21回研究大会の反省

参加者数について・・・ 会員の参加のほかに、保護者・一般等の多数の参加があったこと、事前の情宣活動（PTAへのはたらきかけ、新聞報道）が効果的だったこと等の報告がありました。

運営に関して・・・ 駐車場が狭く不便だったことや、美術館の座席が狭いなどの意見もあり、会場はやはりアバンセがよいとのことでした。

校長会アンケート・・・ 結果について会員から様々な意見が寄せられました。アンケートをとっただけではなく、この結果を今後の活動にどう活かすのかが大事であるとまとめられました。

イチャモン講演・・・ 肯定的な意見や感想ばかりでした。秋の大会の成功はこの講演のおかげとあってよいほどの好評価でした。

シンポジウム・・・ これもマイナスの評価はありませんでした。社会的な教育課題と学校事務職員の関わりといった点で、今後の参考になるシンポジウムでした。

#### 3) 第21回大会後の各専門部の活動報告・今後の計画等

各専門部より最近の活動について報告がありました。また、事務局から予算の執行状況について報告があり、次回理事会で更正予算案を提案・審議することになりました。

#### 4) 直近の情勢報告

前回までの理事研修会の確認事項として下記のことが報告されました。

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

「佐事研が長年にわたり要望し続けてきた事務改革の具体的事項（たとえば共同実施の推進、職務標準の改訂、研修体制の整備など）について、県教委教職員課が主体的に『担当者の私的な意向ではなく』取り組む姿勢であること。」

「今後の佐事研の具体案は、研究部ビジョン班で素案を作成し、常任理事会・理事会の論議を経て県教委に提案していくこと」「ただし、佐事研は問題提起をしてきた当事者として『参考意見』を求められているが、あくまで事務改革推進の主体者は教職員課であり、佐事研の要望が必ずすべて実現すると約束されているわけではないこと」などを理事会で再確認し、これまでの経過や今後の展望等について、各地区理事から会員に報告をすると同時に、常任理事会で説明資料を作成することになりました。

## 5) 今後の計画等について

第22回大会は、平成19年5月25日（金曜日）、アバンセで開催の予定です。

# 武雄中学校区の研究活動(共同実施)を紹介します。

## ○ メンバー

武雄中 2名（事務長、主事）、朝日小 1名（事務長）、橘小 1名（主査）  
武雄小 1名（事務長）、御船が丘小【拠点校】 2名（事務長、副主査） 計 7名  
（拠点校に加配の事務職員配置。加配の事務職員のみ兼務辞令発令）

## ○ 共同実施で取り組んできたこと

- ・ 月2回程度、武雄中学校区内事務職員で研究会の開催
- ・ 県費給与、旅費事務に係る情報交換と報告書の相互チェック
- ・ 職員の服務に係る諸帳簿の相互チェック
- ・ 事務の効率的な処理をするための研修



また、校区内の共同実施ではありませんが、武雄市内全体の取り組みとして、月1回程度の市事務担当者研修会を開催しています。この研修会では、市教育委員会担当者を交え、就学援助事務や予算に係わる改善に取り組んでいます。今後も、備品台帳の整備や、引き続き予算編成、就学援助事務の研究を市教委と共に進めていこうとしています。

他地区では、それぞれ事務の共同実施の取り組み方に工夫や斬新な考えのもと、大きな成果を上げておられるようですが、当地区においては、共同実施に対する個々の事務職員の考え方の違いをどう調整して、共同実施をより効果的に教育活動の支援に結びつけていくかが今後の課題です。

## 伊万里市の共同実施について

伊万里市の場合、各学校が機能的には従来どおりの自己完遂型で、定期的に連絡会・研修会等を設け、共通の課題等につき意見交換、研修等を行うことで事務の連携を図っている。

組織としては、伊万里市事務職員会（定例事務職員会（市学校教育課主催）の午後 年間3回）と市教研事務部会（伊万里市教育研究会に所属 年間4回）がある。

また、何らかの共通理解したい事案、課題等に直面した場合は、事務職員会の会長が窓口となり、事務職員間・関係機関との連絡・調整・折衝にあたっている。

### 伊万里市事務職員会組織

会長	1名
副会長	1名
地区代表	4名
市教研推進委員	4名
県事研理事	1名
県事研研修部	1名
県事研調査広報部	1名

### 市教研事務部会

部長（校長）	1名
副部長（教頭）	1名
推進委員	1名
会員	23名

### 事務職員経験年数

1年～5年	4名
5年～10年	1名
10年～15年	3名
15年～20年	6名
20年～25年	3名
25年～30年	2名
30年～	4名
合計	23名

### 伊万里市小中学校の構成

西部地区（7名）	二里小 東山代小 滝野小中 山代東小 山代西小 国見中 山代中
中部地区（7名）	伊万里小 牧島小 大川内小 大坪小 立花小 伊万里中 啓成中
北部地区（4名）	黒川小 波多津小 波多津東小 青嶺中
東部地区（6名）	南波多小 松浦小 大川小 南波多中 東陵中 ※地区別事務職員配置 合計23名

### 平成17年度 伊万里市小中事務職員の研修等

月別	定例研修	研修、情報交換等の内容
4月	研修連絡会	研修についての協議
5月	市教研事務部会	市教研テーマ設定、研修計画 テーマ「学校事務の開拓と充実」
6月		
7月	研修連絡会	市履歴書差替え整理 県事務監査報告 その他
8月	市教研事務部会	住居手当関係（インスリーマシオン取扱い等）非常勤講師関係（複数校勤務等）旅費関係（航空機利用等）
9月	研修連絡会	就学援助費等の口座振替取扱いについて
10月	市教研事務部会	旅費関係（日額旅費、赴任旅費）単身赴任手当関係 扶養手当関係 育業者の特昇 失業者の退職手当
11月	研修連絡会	年末調整関係（相互点検及び問題点の協議）
12月	市教研大会	
1月	市教研事務部会	反省 まとめ
2月	研修連絡会	予算関係（市費、旅費調整中心に）異動等に伴う事務処理について

# 鹿島市の共同実施

鹿島市立北鹿島小学校

森 健二

鹿島市では、平成18年度より市内全9校（小学校7校、中学校2校）による共同実施を行っています。研究会は月2回～4回のペースで開催し、研究・実践を行っています。毎回市教委からも1, 2名が出席し、市費予算の効率的な執行、事務処理の効率化等について、活発な情報や意見の交換、さらに共同作業なども行える場になっています。

私は今年度管外から転入し、鹿島市の財務事務は初めてでしたが、共同実施の中で「市費事務マニュアル」の作成を担当することになり、作成作業をとおして事務処理について学ぶことができました。市教委との会議をとおして、昨年までの状況がつぶさに勉強できるし、疑問点も直接協議できたので、転任したばかりの私としては非常に心強いものでした。

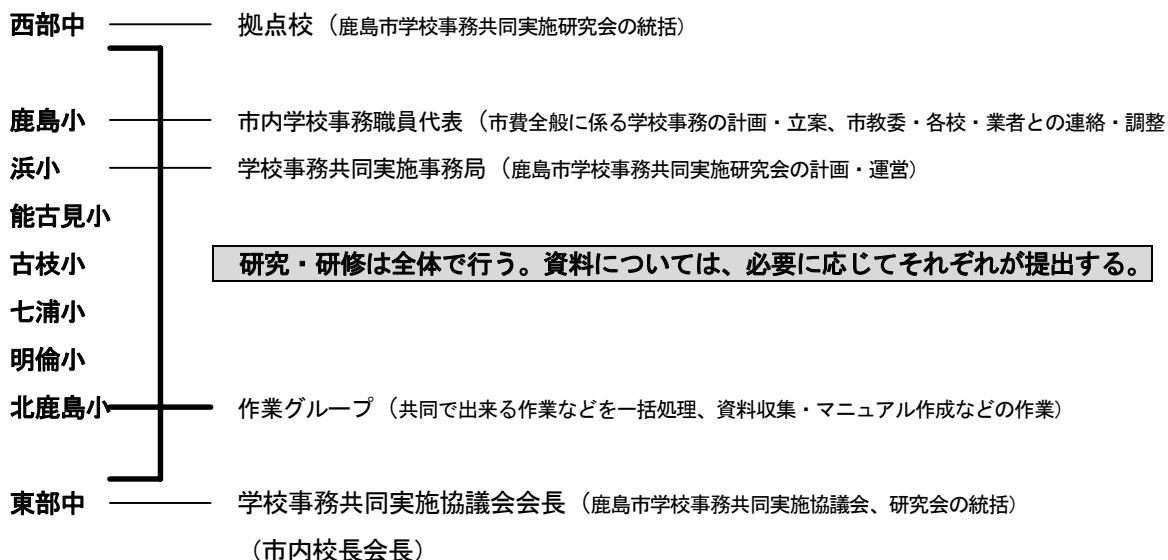
鹿島市（藤津地区）では以前から、予算要求の共同作業、備品の共同購入、諸帳簿の審査、事例研究等協力体制が整っており、経験年数の少ない者に対する事務支援も積極的に行われていたという土壌がありました。実質的な共同実施はすでに行っていたといえます。今回共同実施を行うことにより兼務辞令をもらい、法的根拠のもと組織的な研究・研修ができるようになったことで、市教委・校長会との連携もより密接にできるようになったのではないのでしょうか。

共同実施の組織は、平成18年度については下記のとおりです。平成19年度は組織再編成を検討中…。

## 1. 学校事務共同実施協議会



## 2. 研究会（月2回～4回のペースで開催）



※平成18年度の「佐事研だより」45号～49号まで無事発行することができました。これも一重に会員の皆様のお陰と感謝いたしております。一年間のご愛読、誠にありがとうございました。

佐事研調査広報部一同

アクセス！

[\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)